

平成29年度



# ふくおかしの 家計簿

## 目次

### 予算とは？何に使っているの？

- 予算って何？平成29年度の予算は？…………… 01
- 収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？…………… 01～02
- 市民一人あたりにすると？…………… 03
- 予算を「家計」に例えると？…………… 04
- どのような事業に使うの？…………… 05～08

### 福岡市の財政状況はどんなの？

- 借金はいくらあるの？他の政令指定都市と比べるとどうなの？…09
- なぜ借金が増えたの？借金は何に使っているの？……………10
- 収入や支出はどうなってるの？……………11～12
- 福岡市の財政状況のまとめ……………12

### 福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

- 財政の現状と見通しは？……………13
- 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた取組みの方向性は？……………14
- 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた平成29年度における取組みは？…15～16

**福岡市の**  
○平成29年度予算  
○財政状況  
○将来にわたり持続可能な財政  
運営に向けた取組み  
を紹介します！

# 1 予算とは？ 何に使っているの？

〔この冊子で使われている数値は、各項目で四捨五入していることがあるため、合計などが一致しない場合があります。〕

## ●予算って何？

福岡市に1年間に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが納めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示したものです。

## ●どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの会計（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

## ●平成29年度の予算は？（ ）は前年度

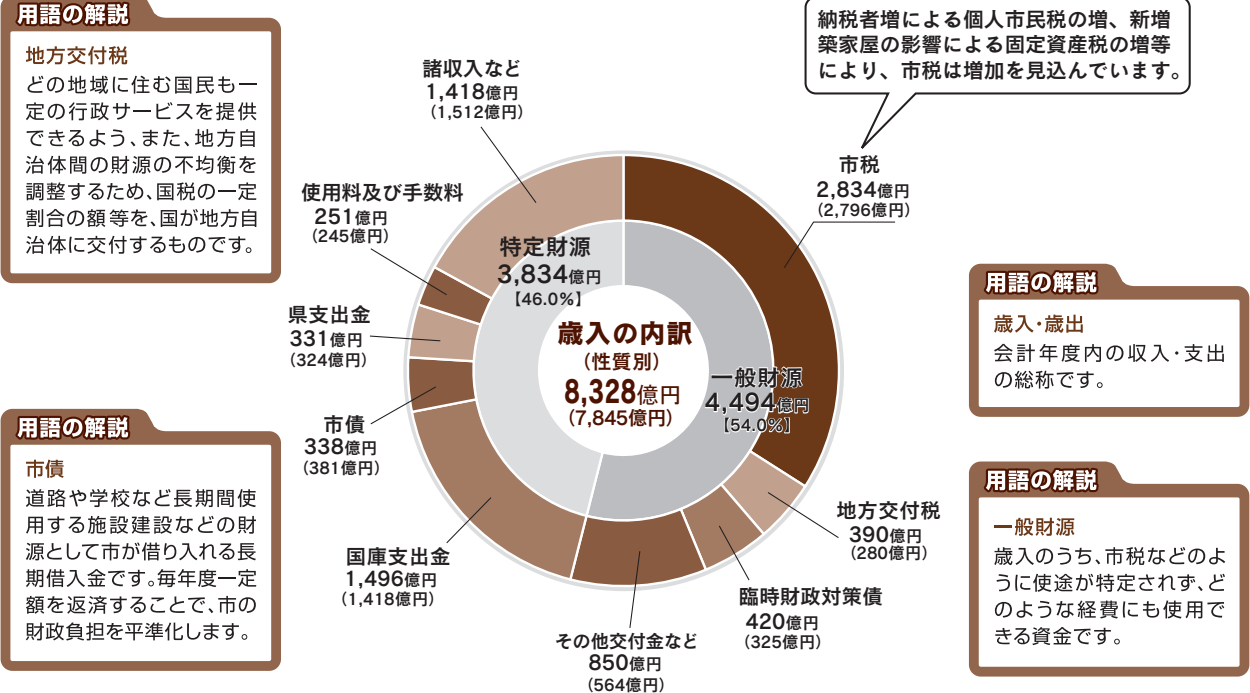


**用語の解説**  
一般会計  
福祉、教育などの行政の基本的な事業を行う会計(予算の中心)です。

## ●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

### ①一般会計の収入(歳入)

収入には、市税のほか国や県から交付されるお金や借入金があります。  
( )は前年度、【 】は構成比



**用語の解説**  
地方交付税  
どの地域に住む国民も一定の行政サービスを提供できるように、また、地方自治体間の財源の不均衡を調整するため、国税の一定割合の額等を、国が地方自治体に交付するものです。

**用語の解説**  
市債  
道路や学校など長期間使用する施設建設などの財源として市が借り入れる長期借入金です。毎年度一定額を返済することで、市の財政負担を平準化します。

**用語の解説**  
歳入・歳出  
会計年度内の収入・支出の総称です。

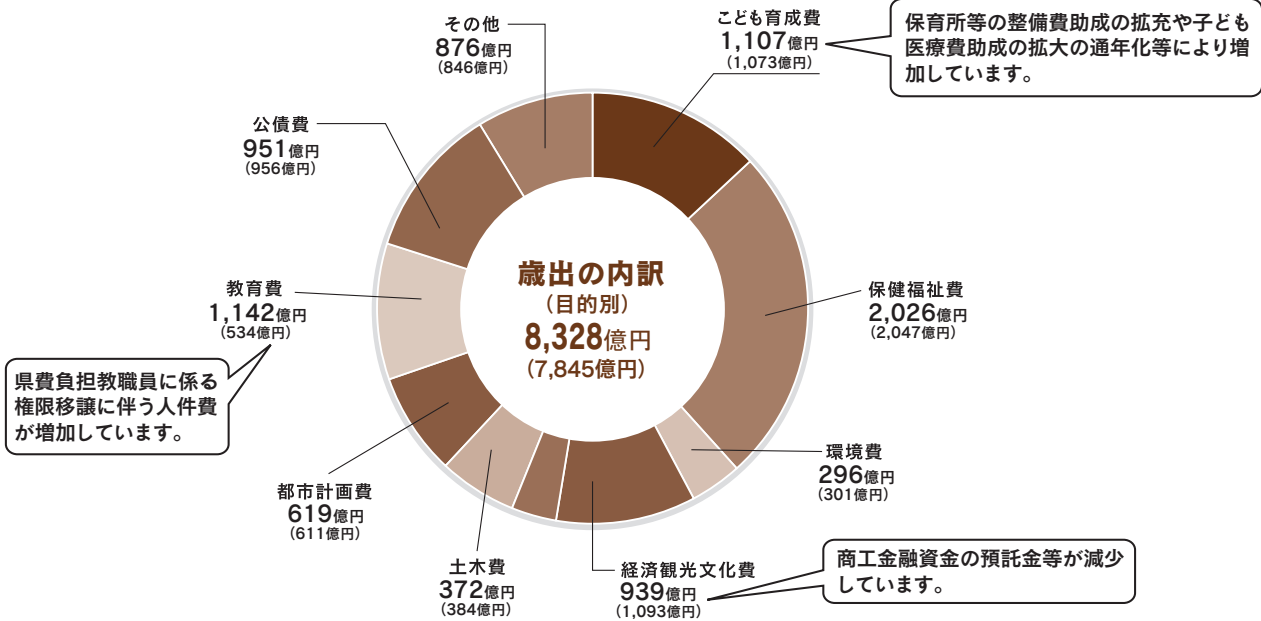
**用語の解説**  
一般財源  
歳入のうち、市税などのように用途が特定されず、どのような経費にも使用できる資金です。

## ②一般会計の支出(歳出)

### 【目的別】

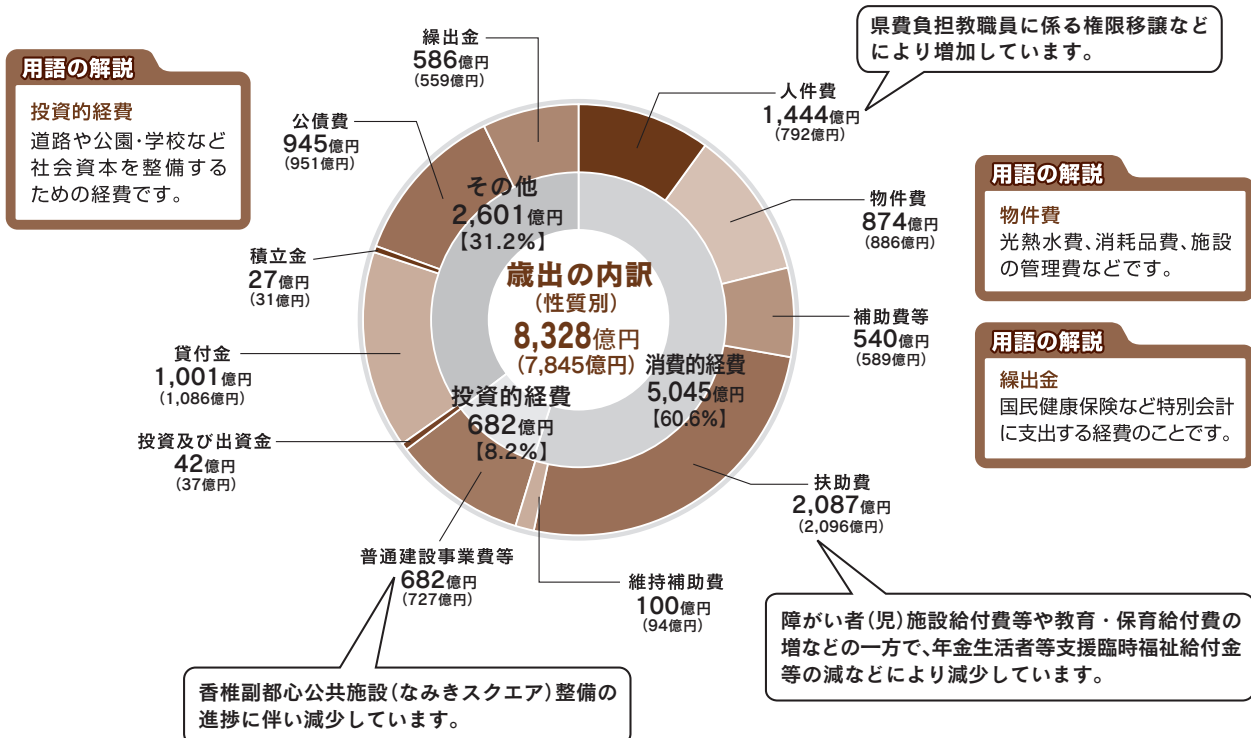
予算では、子育て、福祉など目的ごとにどれだけ使うのか定めています。

( )は前年度















### 【性質別】

予算は、目的別だけではなく、人件費や物件費など性質による分類からどれだけ使うのか見ることができます。( )は前年度、【 】は構成比



## ●市民一人あたりにすると？

一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると約55万円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

	平成29年度予算		
	億円	市民一人あたりの予算	
 保健・医療・福祉に 2,038 134,526 (24.5%)			高齢者も障がい者も誰もが住みやすいまちづくりを進めます。
 学校や教育に 1,228 81,085 (14.8%)			
 こどもの育成に 1,110 73,275 (13.3%)			新たな保育ニーズへの対応など、健やかな子ども育成に積極的に取り組みます。
 地域経済の発展に 1,045 68,960 (12.5%)			
 道路・住宅・計画的なまちづくりに 801 52,882 (9.6%)			
 行政の運営に 578 38,150 (6.9%)			
 災害に強いまちに 478 31,526 (5.7%)			
 清潔なまちに 308 20,304 (3.7%)			
 地下鉄・水道事業の支援に 297 19,626 (3.6%)			地域コミュニティの活性化など、支えあいとつながりのあるまちづくりに取り組みます。
 地域活動・文化・スポーツに 188 12,405 (2.3%)			
 公園整備や緑の保全に 154 10,169 (1.9%)			
 新鮮で安全な食料の提供に 103 6,819 (1.2%)			市民一人あたりの予算55万円は、20政令指定都市中、3番目の多さです。
合計	8,328	549,727	(100.0%)

※平成28年12月末現在の人口(151万4,924人)で割っています。

※( )内は、構成比を示しています。

## ●予算を「家計」に例えると？

一般会計の予算(8,328億円)を年間の収支が500万円(1月あたり41万6,000円)の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。  
諸手当のうち、地方交付税は、どの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。  
また、国・県支出金は、生活保護や道路整備など市の事業の一部を国や県が一定割合を負担するものです。

## ふくおか家・1カ月の家計簿

### 《収入》

給与	32万7,000円
（うち基本給 （市税などの自主財源） 18万） 諸手当	14万7,000円
銀行からの借入 （市債）	3万8,000円
貸したお金の返済金 （貸付金元利収入）	5万1,000円
計	41万6,000円

### 《支出》

医療費・保育料など （扶助費）	10万5,000円	} 義務的経費
ローンの返済 （公債費）	4万7,000円	
食費 （人件費）	7万2,000円	
光熱費や通信費など （物件費）	4万5,000円	
家・車・電化製品の修理・買い換え （維持修理費、普通建設事業費）	3万9,000円	
家族への仕送り （繰出金、補助費）	5万6,000円	
友人などへ貸すお金 （貸付金等）	5万2,000円	
計	41万6,000円	

ローンを4万7,000円返済する一方、  
新たな借入は3万8,000円に抑えました。  
借金残高を減らす努力をしています。

医療費・保育料など(生活保護費などの扶助費)、  
ローンの返済(公債費)、食費(人件費)の3つは、  
「義務的経費」と呼ばれています。

これが多いのは、一般家庭のエンゲル係数(家計における食費の占める割合)が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。ちなみに、福岡市の歳出総額に占める義務的経費の割合は、53.8%となっており、政令市平均の57.2%と比べると、やや低い状態です。

## ●どのような事業に使うの？

「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環の実感を、都心部から農山漁村地域まで、子どもからお年寄りまで行き渡らせ、安全・安心で持続的な好循環が可能な都市づくりを推進していくため、以下の事業等を実施します。

## 子どもからお年寄りまで、「暮らし」やすいまち

### 安心して産み・子育てできる環境づくり

#### 新たな保育ニーズへの対応及び 保育士の確保

41億6,393万円

新たな保育ニーズに対応するため、保育所等の定員確保(当初予算過去最大の2,000人分)を図るとともに、保育士の人材確保、子育て支援コンシェルジュによる保護者への情報提供・助言、企業主導型保育事業の支援、保育所等の防犯対策の強化を実施します。



#### 子育て世代包括支援センターの設置

7,762万円

妊娠期からの支援体制の強化を図るため、各区保健福祉センター内に子育て世代包括支援センターを設置し、新たに母子保健相談員を配置するとともに、関係各課が連携して、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行います。



#### 不妊専門相談センターの設置

1,653万円

不妊に関する専門的な相談に休日等も対応する不妊専門相談センターを設置します。

### 教育環境の充実

#### 県費負担教職員権限移譲を契機とした充実・強化

不登校児童生徒の大幅減を目指し、不登校対応教員を「全国初」となる全中学校(離島2校を除く)に配置します。

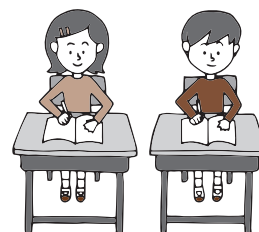
食育推進により基本的な生活習慣の定着を促進するため、栄養教諭を計画的に増員配置(76人⇒108人)します。



#### 小学校外国語活動支援事業

1億88万円

小学校5年生における外国語活動ゲストティーチャーの配置時間を15時間/年から35時間/年へ拡充します。



#### 能古小学校・能古中学校における小中一貫教育の推進

1億4,409万円

福岡市初の施設一体型の小中一貫教育の実施に向けた施設整備を行います。

#### 部活動の指導体制の強化

8,667万円

中学校、高等学校での部活動における補助指導者を増員配置します。



## 地域で安心して生活するための支援

### 障がい者の地域生活支援機能強化等

11億9,589万円

障がいのある人が地域や家庭でいきいきと生活できるよう「親なき後」も含めた、24時間対応の地域生活支援体制の整備、緊急時の受け入れ拠点整備、障がい者の社会的孤立防止支援、移動支援サービス、医療的ケアが必要な重度障がい者への支援など総合的な支援体制を整備します。



## 社会参加支援の充実

### ベンチプロジェクト

3,135万円

誰もが気軽に安心して外出できる環境づくりを進めるため、身近な場所にベンチを設置します。



### 福祉バス

8,748万円

高齢者や障がい者等の社会参加を促進するため、老人クラブ等がレクリエーションなどに利用する福祉バスの運賃助成を拡大します。



## 防災・減災対策の強化

### 救援物資受配送訓練の実施

150万円

救援物資を避難所に効率的に届ける受配送訓練を実施します。



### 地域防災力の強化

1,586万円

避難所運営支援のエキスパートの養成・ワークショップの開催や、マンション管理組合等による防災マニュアル作成の支援を行うとともに、避難行動要支援者の名簿の自治協議会等への提供及び地域での避難支援対策支援の推進に取り組みます。

# 経済活動が活発で、「挑戦」できるまち

## 世界と繋がるスタートアップの街

### スタートアップ支援施設運営事業

6,627万円

市内に分散するインキュベーション施設を集約し、民間事業者のアイデアやノウハウを活かした官民共働型のスタートアップ支援施設「FUKUOKA growth next (フクオカグロースネクスト)」を旧大名小校舎に整備し、スタートアップ企業のさらなる成長や既存中小企業の第二創業促進を図ります。



### グローバルスタートアップ推進事業

6,942万円

国際的なイベントへの参加や、海外のスタートアップ拠点とのネットワークの構築、海外研修・セミナー等の実施により、グローバル展開を見据えた創業が可能となる環境を整備します。



## 新しいアイデアやサービスが生まれる街

### 実証実験フルサポート事業

1,303万円

IoTなど最先端の技術を活用した実証実験を全国から公募・選定し、実証フィールド提供などの支援を実施します。

※IoT (internet of things) : パソコンやスマホなどの情報通信機器に限らず、すべての「モノ」がインターネットにつながること

### IoT新サービス創出支援事業

983万円

IoT分野における実証実験の促進を図るため、省電力・長距離の通信を実現する通信ネットワーク (LoRa) を整備します。

## 農山漁村地域の付加価値を生み出す街

### ベジフルスタジアムマッチング事業

560万円

海外販路開拓に意欲がある生産者(産地)と海外バイヤーとの商談会をベジフルスタジアムで開催し、地域特産品(青果物や6次産品等)をPRします。

### 市街化調整区域における観光ビジネス活性化事業

450万円

志賀島周辺におけるサイクルツーリズムのPRなど、地域の事業者等と協力した誘致促進策を実施します。



## 多彩な人が集うおもてなしの街

### 祭りの魅力発信事業

3,234万円

ユネスコ無形文化遺産に登録された九州5都市の祭りの魅力を国内外に発信するため、5都市連携のイベントを開催します。



### 博多部・夜の観光魅力創出「ナイトパザール」事業

150万円

博多部地区の回遊性向上と一体的な魅力創出を図るため、商店街や近隣観光施設等と連携し「ナイトパザール」を開催します。





# 「都市基盤」が充実し、次の世代のために歩むまち

## 未来に向けて生まれかわるまち

天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)  
～情緒ある路地空間の創出～

1億1,800万円

天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)の魅力づくりに向けて、石畳による道路整備と景観誘導により、情緒ある路地空間の創出に取り組みます。



(西中洲イメージ)

九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり 3億5,643万円

まちの整備ルール等を示すガイドラインの策定や、基盤整備の推進、さらにモビリティやセキュリティなどの最先端の技術革新による先進的なまちづくり「FUKUOKA Smart EAST」の検討に取り組みます。

旧大名小学校跡地のまちづくり検討 1,879万円

「旧大名小学校跡地活用プラン」を踏まえ、平成30年度の事業着手に向けて、事業者公募手続き等に取り組みます。

## ウォーターフロントネクスト

国内を代表するMICE拠点の形成 2億8,572万円

MICE関連施設が一体的・機能的に配置された拠点の形成を目指し、第2期展示場の事業者公募手続きや、ホール等の整備、ホテル等の誘致に向けた検討に取り組みます。

クルーズ受入機能の強化 2,500万円

クルーズ船の寄港回数の増加や、船舶の大型化に対応するため、中央ふ頭におけるクルーズ受入機能強化の検討を実施します。

## 文化・芸術・スポーツ活動拠点の整備・充実

福岡市科学館整備 7億151万円

子どもから大人まで幅広い世代の人々が科学を楽しく体験できる施設として、平成29年10月に科学館を開館します。



レベルファイブスタジアムの改修 8,848万円

アビスパ福岡のホームスタジアムであり、ラグビーワールドカップ2019が開催される会場施設のエレベーター増設等を行います。



## 災害に強く環境に優しいまちづくり

福岡都市圏消防共同指令センターの整備 39億7,050万円

消防指令管制情報システムを構築し、福岡都市圏における119番指令センターの共同運用を開始します。



中央区における消防・救急体制の強化 15億2,416万円

都心部における災害即応体制の強化と、救急需要への対応等を図るため、中央消防署を移転整備します。

